

参考1 令和2年国勢調査 都道府県ランキング

1 人口総数 (全国 126,146,099人)

*多い順

順位	都道府県	人口(人)
1	東京都	14,047,594
2	神奈川県	9,237,337
3	大阪府	8,837,685
4	愛知県	7,542,415
5	埼玉県	7,344,765

*少ない順

順位	都道府県	人口(人)
1	鳥取県	553,407
2	島根県	671,126
3	高知県	691,527
4	徳島県	719,559
5	福井県	766,863

2 人口増減数 (全国 -948,646人)

*多い順

順位	都道府県	人口(人)
1	東京都	532,322
2	神奈川県	111,124
3	埼玉県	78,231
4	千葉県	61,814
5	愛知県	59,287

*少ない順

順位	都道府県	人口(人)
1	北海道	-157,119
2	新潟県	-102,992
3	福島県	-80,887
4	青森県	-70,281
5	兵庫県	-69,798

3 人口増減率 (全国 -0.7%)

*高い順

順位	都道府県	増減率(%)
1	東京都	3.9
2	沖縄県	2.4
3	神奈川県	1.2
4	埼玉県	1.1
5	千葉県	1.0

*低い順

順位	都道府県	増減率(%)
1	秋田県	-6.2
2	岩手県	-5.4
3	青森県	-5.4
4	高知県	-5.0
5	山形県	-5.0

4 人口性比 (全国 94.7)

*高い順

順位	都道府県	性比
1	栃木県	99.7
2	茨城県	99.6
3	愛知県	99.5
4	埼玉県	98.9
5	神奈川県	98.7

*低い順

順位	都道府県	性比
1	長崎県	88.7
2	奈良県	89.1
3	鹿児島県	89.1
4	青森県	89.1
5	秋田県	89.2

5 人口密度 (全国 338.2人/km²)

*高い順

順位	都道府県	人口密度(人/km ²)
1	東京都	6,402.6
2	大阪府	4,638.4
3	神奈川県	3,823.2
4	埼玉県	1,934.0
5	愛知県	1,458.0

*低い順

順位	都道府県	人口密度(人/km ²)
1	北海道	66.6
2	岩手県	79.2
3	秋田県	82.4
4	高知県	97.3
5	島根県	100.1

6 15歳未満人口（割合）（全国 12.1%）

*高い順

順位	都道府県	割合（%）
1	沖縄県	16.9
2	滋賀県	13.9
3	佐賀県	13.6
4	熊本県	13.3
5	福岡県	13.3
24	神奈川県	12.0

*低い順

順位	都道府県	割合（%）
1	秋田県	9.7
2	青森県	10.6
3	北海道	10.8
4	高知県	11.0
5	岩手県	11.1

7 15～64歳人口（割合）（全国 59.2%）

*高い順

順位	都道府県	割合（%）
1	東京都	65.7
2	神奈川県	62.4
3	愛知県	61.3
4	埼玉県	60.8
5	沖縄県	60.5

*低い順

順位	都道府県	割合（%）
1	秋田県	52.7
2	島根県	53.3
3	高知県	53.3
4	山口県	53.6
5	鹿児島県	53.9

8 65歳以上人口（割合）（全国 28.7%）

*高い順

順位	都道府県	割合（%）
1	秋田県	37.6
2	高知県	35.6
3	山口県	34.8
4	徳島県	34.5
5	島根県	34.4

*低い順

順位	都道府県	割合（%）
1	沖縄県	22.6
2	東京都	22.8
3	愛知県	25.4
4	神奈川県	25.6
5	滋賀県	26.4

9 平均年齢（全国 47.7歳）

*高い順

順位	都道府県	平均年齢（歳）
1	秋田県	53.0
2	高知県	51.3
3	青森県	50.9
4	徳島県	50.7
5	岩手県	50.7

*低い順

順位	都道府県	平均年齢（歳）
1	沖縄県	43.4
2	東京都	45.3
3	愛知県	45.7
4	滋賀県	45.9
5	神奈川県	46.5

10 未婚（割合）（全国 27.5%）

*高い順

順位	都道府県	割合（%）
1	東京都	32.7
2	沖縄県	31.5
3	神奈川県	29.4
4	京都府	29.3
5	大阪府	29.2

*低い順

順位	都道府県	割合（%）
1	秋田県	22.8
2	宮崎県	23.4
3	山形県	23.5
4	島根県	23.6
5	和歌山県	24.1

11 総人口に占める外国人人口の割合（全国 1.9%）

*高い順

順位	都道府県	割合（%）
1	東京都	3.5
2	愛知県	3.1
3	群馬県	2.8
4	三重県	2.6
5	岐阜県	2.5
10	神奈川県	2.2

*低い順

順位	都道府県	割合（%）
1	秋田県	0.4
2	青森県	0.4
3	岩手県	0.6
4	宮崎県	0.6
5	高知県	0.6

12 総世帯数（全国 55,830,154世帯）

*多い順

順位	都道府県	世帯数（世帯）
1	東京都	7,227,180
2	神奈川県	4,223,706
3	大阪府	4,135,879
4	愛知県	3,238,301
5	埼玉県	3,162,743

*少ない順

順位	都道府県	世帯数（世帯）
1	鳥取県	219,742
2	島根県	269,892
3	福井県	291,662
4	徳島県	308,210
5	佐賀県	312,680

13 世帯増減数（全国 2,381,469世帯）

*多い順

順位	都道府県	世帯数（世帯）
1	東京都	526,057
2	神奈川県	244,429
3	大阪府	211,992
4	埼玉県	191,084
5	愛知県	174,468

*少ない順

順位	都道府県	世帯数（世帯）
1	高知県	-3,739
2	秋田県	-3,373
3	長崎県	-2,490
4	岩手県	-613
5	山口県	-10

14 世帯増減率 (全国 4.5%)

*高い順

順位	都道府県	増減率 (%)
1	沖縄県	9.7
2	東京都	7.9
3	埼玉県	6.4
4	千葉県	6.3
5	滋賀県	6.3
6	神奈川県	6.1

*低い順

順位	都道府県	増減率 (%)
1	高知県	-1.2
2	秋田県	-0.9
3	長崎県	-0.4
4	岩手県	-0.1
5	山口県	-0.0

15 一般世帯数 (全国 55,704,949世帯)

*多い順

順位	都道府県	世帯数 (世帯)
1	東京都	7,216,650
2	神奈川県	4,210,122
3	大阪府	4,126,995
4	愛知県	3,233,126
5	埼玉県	3,157,627

*少ない順

順位	都道府県	世帯数 (世帯)
1	鳥取県	219,069
2	島根県	268,462
3	福井県	290,692
4	徳島県	307,358
5	佐賀県	311,173

16 施設等世帯数 (全国 125,205世帯)

*多い順

順位	都道府県	世帯数 (世帯)
1	神奈川県	13,584
2	東京都	10,530
3	大阪府	8,884
4	北海道	7,783
5	千葉県	6,179

*少ない順

順位	都道府県	世帯数 (世帯)
1	鳥取県	673
2	山梨県	796
3	滋賀県	845
4	徳島県	852
5	香川県	923

17 一般世帯における1世帯当たり人員 (全国 2.21人)

*多い順

順位	都道府県	1世帯当たり人員(人)
1	山形県	2.61
2	福井県	2.57
3	佐賀県	2.51
4	富山県	2.50
5	岐阜県	2.49

*少ない順

順位	都道府県	1世帯当たり人員(人)
1	東京都	1.92
2	北海道	2.04
3	大阪府	2.10
4	鹿児島県	2.11
5	高知県	2.11
8	神奈川県	2.15

参考2 令和2年国勢調査 神奈川県内市区町村ランキング

1 人口総数 (県 9,237,337人)

*多い順

順位	市区町村	人口(人)
1	藤沢市	436,905
2	横須賀市	388,078
3	横浜市港北区	358,530
4	横浜市青葉区	310,756
5	横浜市鶴見区	297,437

*少ない順

順位	市区町村	人口(人)
1	清川村	3,038
2	真鶴町	6,722
3	中井町	9,300
4	山北町	9,761
5	松田町	10,836

2 人口増減数 (県 111,124人)

*多い順

順位	市区町村	人口(人)
1	川崎市中原区	16,154
2	横浜市港北区	14,358
3	藤沢市	13,011
4	横浜市鶴見区	12,081
5	川崎市幸区	10,229

*少ない順

順位	市区町村	人口(人)
1	横須賀市	-18,508
2	小田原市	-5,230
3	秦野市	-4,939
4	相模原市緑区	-3,405
5	横浜市金沢区	-3,290

3 人口増減率 (県 1.2%)

*高い順

順位	市区町村	増減率(%)
1	開成町	7.7
2	川崎市中原区	6.5
3	横浜市西区	6.5
4	川崎市幸区	6.4
5	海老名市	4.9

*低い順

順位	市区町村	増減率(%)
1	山北町	-9.0
2	真鶴町	-8.3
3	三浦市	-7.1
4	湯河原町	-6.4
5	南足柄市	-5.7

4 人口性比 (県 98.7)

*高い順

順位	市区町村	性比
1	川崎市川崎区	116.0
2	愛川町	110.0
3	横浜市鶴見区	106.6
4	厚木市	106.4
5	清川村	105.0

*低い順

順位	市区町村	性比
1	湯河原町	86.8
2	真鶴町	86.8
3	逗子市	88.1
4	鎌倉市	88.5
5	葉山町	89.0

5 人口密度 (県 3823.2人/km²)

*高い順

順位	市区町村	人口密度(人/km ²)
1	川崎市中原区	17,888.9
2	川崎市幸区	17,094.8
3	横浜市南区	15,664.6
4	横浜市西区	14,926.7
5	川崎市高津区	14,323.2

*低い順

順位	市区町村	人口密度(人/km ²)
1	清川村	42.6
2	山北町	43.5
3	箱根町	121.6
4	松田町	287.0
5	中井町	465.2

6 15歳未満人口（割合）（県 12.0%）

*高い順

順位	市区町村	割合（%）
1	横浜市都筑区	15.2
2	開成町	14.8
3	川崎市宮前区	14.0
4	川崎市幸区	13.5
5	川崎市中原区	13.3

*低い順

順位	市区町村	割合（%）
1	箱根町	6.4
2	真鶴町	6.6
3	湯河原町	7.5
4	三浦市	8.3
5	山北町	8.4

7 15～64歳人口（割合）（県 62.4%）

*高い順

順位	市区町村	割合（%）
1	川崎市中原区	71.4
2	横浜市西区	69.4
3	川崎市多摩区	69.0
4	川崎市高津区	68.1
5	横浜市港北区	67.6

*低い順

順位	市区町村	割合（%）
1	湯河原町	49.5
2	真鶴町	49.8
3	三浦市	50.8
4	山北町	51.8
5	清川村	52.7

8 65歳以上人口（割合）（県 25.6%）

*高い順

順位	市区町村	割合（%）
1	真鶴町	43.5
2	湯河原町	43.0
3	三浦市	41.0
4	山北町	39.8
5	箱根町	38.4

*低い順

順位	市区町村	割合（%）
1	川崎市中原区	15.3
2	横浜市都筑区	18.4
3	川崎市高津区	19.0
4	横浜市西区	19.4
5	横浜市港北区	19.9

9 平均年齢（県 46.5歳）

*高い順

順位	市区町村	平均年齢（歳）
1	真鶴町	56.8
2	湯河原町	55.8
3	三浦市	54.4
4	山北町	54.0
5	箱根町	52.7

*低い順

順位	市区町村	平均年齢（歳）
1	川崎市中原区	41.2
2	横浜市都筑区	43.0
3	川崎市高津区	43.1
4	川崎市多摩区	43.5
5	横浜市港北区	43.7

10 総人口に占める外国人人口の割合 (県 2.2%)

*高い順

順位	市区町村	割合 (%)
1	横浜市中区	8.9
2	愛川町	7.2
3	川崎市川崎区	5.9
4	横浜市南区	4.7
5	綾瀬市	4.5

*低い順

順位	市区町村	割合 (%)
1	大磯町	0.4
2	二宮町	0.6
3	三浦市	0.7
4	大井町	0.7
5	清川村	0.7

11 総世帯数 (県 4,223,706世帯)

*多い順

順位	市区町村	世帯数 (世帯)
1	藤沢市	193,204
2	横浜市港北区	175,521
3	横須賀市	165,473
4	横浜市鶴見区	145,586
5	川崎市中原区	134,763

*少ない順

順位	市区町村	世帯数 (世帯)
1	清川村	1,127
2	真鶴町	2,963
3	中井町	3,436
4	山北町	3,936
5	松田町	4,572

12 世帯増減数 (県 244,429世帯)

*多い順

順位	市区町村	世帯数 (世帯)
1	川崎市川崎区	13,747
2	藤沢市	13,034
3	横浜市鶴見区	12,772
4	横浜市港北区	12,002
5	川崎市中原区	11,216

*少ない順

順位	市区町村	世帯数 (世帯)
1	三浦市	-357
2	横須賀市	-273
3	真鶴町	-105
4	湯河原町	-67
5	清川村	5

13 世帯増減率 (県 6.1%)

*高い順

順位	市区町村	増減率 (%)
1	川崎市川崎区	12.5
2	開成町	12.4
3	横浜市西区	10.0
4	横浜市鶴見区	9.6
5	海老名市	9.2

*低い順

順位	市区町村	増減率 (%)
1	真鶴町	-3.4
2	三浦市	-2.0
3	湯河原町	-0.6
4	横須賀市	-0.2
5	南足柄市	0.2

14 一般世帯数 (県 4,210,122世帯)

*多い順

順位	市区町村	世帯数(世帯)
1	藤沢市	192,960
2	横浜市港北区	175,177
3	横須賀市	165,101
4	横浜市鶴見区	145,406
5	川崎市中原区	134,619

*少ない順

順位	市区町村	世帯数(世帯)
1	清川村	1,124
2	真鶴町	2,959
3	中井町	3,425
4	山北町	3,843
5	松田町	4,567

15 施設等世帯数 (県 13,584世帯)

*多い順

順位	市区町村	世帯数(世帯)
1	横浜市中区	5,773
2	川崎市川崎区	636
3	横須賀市	372
4	横浜市港北区	344
5	横浜市青葉区	317

*少ない順

順位	市区町村	世帯数(世帯)
1	清川村	3
2	真鶴町	4
3	松田町	5
4	中井町	11
5	開成町	12
5	箱根町	12

16 一般世帯における1世帯当たり人員 (県 2.15人)

*多い順

順位	市区町村	1世帯当たり人員(人)
1	中井町	2.58
2	開成町	2.57
3	大井町	2.53
4	山北町	2.48
5	横浜市都筑区	2.48

*少ない順

順位	市区町村	1世帯当たり人員(人)
1	箱根町	1.69
2	横浜市中区	1.81
3	横浜市西区	1.82
4	川崎市川崎区	1.87
5	横浜市南区	1.89

参考3-1 100年前（大正9年）の市町村別人口

市町村名	人口	市町村名	人口	市町村名	人口	市町村名	人口	市町村名	人口
神奈川縣	1,323,390	三浦郡	101,860	中郡	114,979	足柄下郡	88,625	津久井郡	31,087
市部計	512,817	田浦町	20,180	大磯町	8,637	小田原町	23,014	川尻村	2,372
郡部計	810,573	浦賀町	20,372	國府村	4,347	足柄村	11,945	湘南村	1,085
横濱市	422,938	久里濱村	3,842	吾妻村	7,055	豊川村	1,603	三澤村	861
横須賀市	89,879	衣笠村	4,098	平塚町	12,960	上府中村	1,888	中野村	1,696
久良岐郡	18,642	葉山村	7,558	須馬村	7,384	下府中村	1,535	太井村	641
屏風浦村	2,658	逗子町	9,152	大野村	5,861	下曾我村	2,113	又野村	320
大岡川村	2,621	北下浦村	3,794	神田村	2,571	田島村	823	三ヶ木村	969
日下村	3,912	南下浦村	6,541	相川村	2,494	下中村	2,896	串川村	4,276
金澤村	5,232	三崎町	10,620	成瀬村	2,746	前羽村	2,471	鳥屋村	1,601
六浦莊村	4,219	初聲村	3,619	大田村	2,409	國府津村	3,797	青野原村	1,853
橋樹郡	150,807	長井村	4,798	城島村	1,604	酒匂村	5,536	青根村	1,238
城郷村	5,294	武山村	2,277	岡崎村	1,759	大窪村	3,031	内郷村	2,256
大綱村	4,782	西浦村	5,009	豊田村	1,676	湯本村	2,840	小原町	489
旭村	3,971	鎌倉郡	64,906	金田村	1,260	温泉村	2,219	千木良村	1,259
生見尾村	15,225	戸塚町	4,289	旭村	2,761	宮城野村	1,605	興瀬町	1,164
川崎町	21,391	中川村	3,915	土澤村	3,356	仙石原村	681	吉野町	938
大師河原村	8,550	川上村	2,679	金目村	2,996	箱根町	508	小淵村	915
田島村	12,561	川上村	2,679	伊勢原町	3,874	元箱根村	389	澤井村	830
町田村	16,949	永野村	1,235	高部屋村	3,579	蘆ノ湯村	137	日連村	1,079
御幸村	7,352	豊田村	2,272	大山町	1,627	早川村	2,296	名倉村	890
住吉村	2,738	本郷村	3,106	比々多村	3,439	片浦村	4,495	牧野村	2,877
日吉村	3,769	小坂村	3,571	大根村	3,688	岩村	1,898	佐野川村	1,478
高津村	5,284	玉繩村	1,581	秦野町	10,151	眞鶴村	3,199		
中原村	4,587	鎌倉町	18,252	東秦野村	4,512	福浦村	1,027	愛甲郡	39,291
橘村	2,266	腰越津村	4,312	西秦野村	4,733	吉濱村	3,218	厚木町	4,602
宮前村	3,391	川口村	3,670	南秦野村	4,351	土肥村	3,461	依知村	3,492
向丘村	2,864	深澤村	1,976	北秦野村	3,149			中津村	3,146
生田村	3,240	村岡村	1,466					高峰村	2,590
稲田村	5,162	大正村	2,954	足柄上郡	48,086			愛川村	4,502
保土ヶ谷町	21,431	中和田村	5,725	寄村	1,823			荻野村	3,829
都筑郡	41,978	瀬谷村	3,903	上秦野村	1,978			三田村	1,039
都田村	5,022	高座郡	110,312	中井村	5,321			棚澤村	322
新田村	3,537	藤澤町	17,442	上中村	1,247			下川入村	786
中川村	3,285	茅ヶ崎町	18,259	山田村	938			妻田村	887
山内村	3,060	寒川村	5,364	曾我村	2,941			及川村	471
柿生村	3,371	小出村	3,743	金田村	2,013			林村	461
岡上村	435	御所見村	4,090	松田町	3,660			小鮎村	3,659
中里村	4,369	有馬村	3,792	川村	6,510			煤ヶ谷村	1,947
田奈村	3,958	海老名村	5,099	共和村	778			宮ヶ瀬村	814
新治村	4,446	座間村	5,647	川西村	1,162			玉川村	2,614
都岡村	3,996	新磯村	2,742	谷ヶ村	376			南毛利村	4,130
二俣川村	3,828	麻溝村	3,154	山市場村	314				
西谷村	2,671	田名村	4,261	神繩村	436				
		溝村	3,909	三保村	2,277				
		大澤村	4,014	北足柄村	1,874				
		相原村	3,933	南足柄村	3,562				
		大野村	5,003	福澤村	2,537				
		大和村	4,527	酒田村	1,893				
		綾瀬村	5,759	吉田島村	1,611				
		澁谷村	5,343	櫻井村	1,495				
		六曾村	4,231	岡本村	3,340				

注 1) 政府統計の総合窓口(e-Stat)の統計表から神奈川県が作成。
 2) 市町村名は可能な限り当時の漢字で表記。

参考3-2 50年前（昭和45年）の市区町村別人口

市区町村名	人口	市区町村名	人口	市区町村名	人口
神奈川県	5,472,247	横須賀市	347,576	足柄上郡	79,456
市部計	5,010,473	川崎市	973,486	中井町	6,028
郡部計	461,774	平塚市	163,671	大井町	8,876
横浜市	2,238,264	鎌倉市	139,249	松田町	11,875
鶴見区	256,360	藤沢市	228,978	山北町	14,235
神奈川区	207,362	小田原市	156,654	南足柄町	30,237
西区	97,906	茅ヶ崎市	129,621	開成町	8,205
中区	132,470	逗子市	48,242	足柄下郡	61,859
南区	193,221	相模原市	278,326	橘町	6,977
保土ヶ谷区	166,766	三浦市	45,532	箱根町	21,299
磯子区	116,018	秦野市	75,226	真鶴町	10,284
金沢区	108,693	厚木市	82,888	湯河原町	23,299
港北区	221,511	大和市	102,760	愛甲郡	21,199
戸塚区	248,696	三浦郡	19,609	愛川町	18,442
港南区	104,426	葉山町	19,609	清川村	2,757
旭区	161,187	高座郡	149,125	津久井郡	38,971
緑区	147,156	寒川町	22,946	城山町	8,141
瀬谷区	76,492	海老名町	44,492	津久井町	14,391
		座間町	56,727	相模湖町	8,144
		綾瀬町	24,960	藤野町	8,295
		中郡	91,555		
		大磯町	26,154		
		二宮町	21,650		
		伊勢原町	43,751		

注) 政府統計の総合窓口(e-Stat)の統計表から神奈川県が作成。

参考4 国勢調査 主な指標数値

番号	指標名	単位	指標値			比較		
			A (2020年)	B	年	A-B	単位	A/B (倍)
1	総人口	人	9,237,337	1,323,390	1920	7,913,947	人	7.0
2	前回調査からの 人口増減数	人	111,123	93,402	1925	17,721	人	-
3	男性人口	人	4,588,268	689,751	1920	3,898,517	人	6.7
4	前回調査からの 男性人口増減数	人	29,290	49,948	1925	-20,658	人	-
5	女性人口	人	4,649,069	633,639	1920	4,015,430	人	7.3
6	前回調査からの 女性人口増減数	人	81,833	43,454	1925	38,379	人	-
7	人口性比		98.7	108.9	1920	-10.2		-
8	人口密度	人/km ²	3,823	563	1920	3,260	人/km ²	6.8
9	15歳未満人口割合	%	12.0	35.1	1920	-23.0	ポイント	-
10	15～64歳人口割合	%	62.4	60.6	1920	1.7	ポイント	-
11	65歳以上人口割合	%	25.6	4.3	1920	21.3	ポイント	-
12	男性未婚割合（30-34歳）	%	48.6	12.2	1920	36.4	ポイント	-
13	女性未婚割合（30-34歳）	%	35.7	4.7	1920	31.0	ポイント	-
14	外国人人口	人	195,535	10,832	1920	184,703	人	18.1
15	総人口に占める外国人割合	%	2.2	0.8	1920	1.3	ポイント	-
16	市区町村数		58	200	1920	-142		-
17	1万人以上市区町村数		54	17	1920	37		-
18	1万人未満市区町村数		4	183	1920	-179		-
19	総世帯数	世帯	4,223,706	261,142	1920	3,962,564	世帯	16.2
20	総世帯数における 1世帯当たり人員	人	2.19	5.07	1920	-2.88	人	0.4

参考5 年表

回	年次	総世帯数	総人口	世界・日本のできごと	神奈川県のできごと
1	大正9年 (1920)	261,142	1,323,390	国際連盟発足(1920) 関東大震災(1923)	相模鉄道開通(1921)
2	大正14年 (1925)	287,777	1,416,792	ラジオ放送開始(1925) 治安維持法、衆議院議員選挙法改正公布(1925)	大雄山鉄道(伊豆箱根鉄道)開通(1925) 鶴見臨港鉄道(鶴見線)開通(1926) 小田急線開通(1927) 県庁本庁舎竣工(1928) 南武線全線開通(1929)
3	昭和5年 (1930)	323,263	1,619,606	昭和恐慌(1930~31) 満州事変(1931) 五・一五事件(1932) 国際連盟脱退(1933)	東横線開通(1932)
4	昭和10年 (1935)	358,316	1,840,005	二・二六事件(1936) 盧溝橋事件(日中戦争勃発)(1937) 国家総動員法公布(1938)	
5	昭和15年 (1940)	431,229	2,188,974	太平洋戦争勃発(1941) 広島・長崎原爆投下(1945) 太平洋戦争終戦(1945)	横浜事件(言論弾圧事件)(1942) 学童集団疎開(横浜・川崎・横須賀)(1944) 連合国最高司令官マッカーサー厚木飛行場に(1945)
6	昭和22年 (1947) 臨時国勢調査	465,951	2,218,120	日本国憲法施行(1947) 第1次ベビーブーム(1947~49)	第1回知事選挙 内山岩太郎当選(1947) 相模ダム完成(相模湖誕生)(1947)
7	昭和25年 (1950)	523,914	2,487,665	公職選挙法公布(1950) 朝鮮戦争勃発(1950) サンフランシスコ講和条約調印(1951) テレビ放送開始(1953) 神武景気(1954~57)	
8	昭和30年 (1955)	625,619	2,919,497	国際連合加盟(1956) 岩戸景気(1958~61)	ビキニ海域で被災の第13光栄丸三崎港帰港(1954) 第10回国体秋季大会(1955) 横浜市政令指定都市へ(1956) 川崎臨海工業地帯造成事業第1工区埋立て完成(1958)
9	昭和35年 (1960)	816,996	3,443,176	日米安全保障条約締結(1960) カラーテレビ放送開始(1960) 東海道新幹線開業(1964) 東京オリンピック・パラリンピック(1964) いざなぎ景気(1965~70)	箱根ロープウェイ全線開通(1960)
10	昭和40年 (1965)	1,149,842	4,430,743	小笠原諸島日本復帰(1968)	城山ダム完成(津久井湖誕生)(1965) 第6回知事選挙 津田文吾当選(1967) 東名高速道路 厚木-東京間開通(1968)
11	昭和45年 (1970)	1,534,627	5,472,247	日本万国博覧会(大阪万博)開催(1970) 札幌冬季オリンピック(1972) 沖縄返還(1972) 為替相場変動制、第1次オイルショック(1973) 山陽新幹線開業(1975) 沖縄国際海洋博覧会(1975)	湘南モノレール全線開通(1971) 川崎市政令指定都市へ(1972) 横浜市営地下鉄(上大岡-伊勢佐木長者町間)開通(1972)
12	昭和50年 (1975)	1,906,467	6,397,748	第2次オイルショック(1979)	第8回知事選挙 長洲一当選(1975) 三保ダム完成(丹沢湖誕生)(1978)
13	昭和55年 (1980)	2,258,649	6,924,348		情報公開制度発足(1983)
14	昭和60年 (1985)	2,491,849	7,431,974	国際科学技術博覧会(1985) NTT、JT発足(1985) バブル景気(1986~91) JRR発足(1987) 消費税導入3%(1989) 国際花と緑の博覧会(1990) 東西ドイツ統一(1990)	横浜博覧会開催(1989) 横浜ベイブリッジ開通(1989) 個人情報保護制度発足(1990)
15	平成2年 (1990)	2,847,812	7,980,391	松本サリン事件(1994) 関西国際空港開港(1994) 阪神・淡路大震災(1995) 地下鉄サリン事件(1995)	湘南国際村オープン(1994) 第13回知事選挙 岡崎洋当選(1995)
16	平成7年 (1995)	3,093,998	8,245,900	消費税5%(1997) 長野冬季オリンピック・パラリンピック(1998) 男女共同参画社会基本法施行(1999)	第53回国体(かながわ・ゆめ国体)(1998)
17	平成12年 (2000)	3,341,233	8,489,974		宮ヶ瀬ダム完成(2001) サッカーワールドカップ(横浜決勝)(2002) 第15回知事選挙 松沢成文当選(2003)
18	平成17年 (2005)	3,591,866	8,791,597	愛・地球博覧会(愛知万博)開催(2005) 個人情報保護法施行(2005) 中部国際空港開港(2005) 郵政民営化法成立(2005) 世界金融危機(2007) 東北新幹線全線開通(2010) 東日本大震災(2011)	神奈川県が全国2位になる(2006)
19	平成22年 (2010)	3,844,525	9,048,331		相模原市政令指定都市へ(2010) 第17回知事選挙 黒岩祐治当選(2011)
20	平成27年 (2015)	3,979,278	9,126,214	消費税8%(2014) 北陸新幹線開通(2015) 公職選挙法改正案可決(2015)	
21	令和2年 (2020)	4,223,706	9,237,337	消費税10%(2019) 緊急事態宣言発出(2020)	ラグビーワールドカップ(横浜決勝)(2019) ダイヤモンド・プリンセス号乗客等新型コロナウイルス感染(2020)

(参考) ・『国勢調査100年のあゆみ』(総務省統計局 令和元年10月発行)
・神奈川県HP「神奈川の歴史」、「かながわ歴史」



令和2年国勢調査 神奈川県人口等基本集計結果
(人口、世帯等の確定値)
令和2年10月1日現在

令和3年12月 発行

編集・発行 神奈川県統計センター



統計センター 人口・労働統計課

横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 〒221-0835 電話(045)313-7211